

平成 28 年 三重県議会定例会
予算決算常任委員会戦略企画雇用経済分科会説明資料
目 次

◎議案補充説明

1 議案第 8 号

平成 28 年度三重県一般会計予算【戦略企画部関係】について

・・・・・・・・・・・・・・・・ 1

2 議案第 2 号

平成 27 年度三重県一般会計補正予算（第 7 号）【戦略企画部関係】について

・・・・・・・・・・・・・・・・ 15

3 議案第 70 号

平成 27 年度三重県一般会計補正予算（第 8 号）【戦略企画部関係】について

・・・・・・・・・・・・・・・・ 17

4 議案第 25 号

三重県地域と若者の未来を拓く学生奨学金返還支援基金条例案について

・・・・・・・・・・・・・・・・ 19

平成 28 年 3 月 8 日
戦 略 企 画 部

1 議案第8号 平成28年度三重県一般会計予算【戦略企画部関係】について

戦略企画部

平成28年度当初予算のポイント

1 予算編成にあたっての基本的な考え方

平成28年度は、「みえ県民力ビジョン・第二次行動計画」のスタートの年にあたるとともに、「三重県まち・ひと・しごと創生総合戦略」を本格的に始動する年にあたるため、これらに掲げた目標の達成に向けた取組を的確に推進することが求められます。

そのため、戦略企画部では、「三重県経営戦略会議」や「三重県地方創生会議」の意見等をふまえ、「みえ県民力ビジョン」および「三重県まち・ひと・しごと創生総合戦略」の着実な進行管理を図ります。

また、人口の社会減対策として、県内の若者が進学および就職する際に、県内を選択してもらえよう、県内高等教育機関の魅力向上・充実の取組を支援するとともに、大学生等を対象とした奨学金の返還額の一部を助成する制度の創設などに取り組みます。

さらに、「三重県広聴広報アクションプラン」に基づき、県の認知度向上・イメージアップに向けた戦略的な広聴広報活動の進展を図っていきます。

2 主な重点項目

(1) 高等教育機関における地方創生に向けた取組支援事業（県版COC）

予算額 ー 千円

（46,915千円 ※H27年度2月補正(その1)含みベース）

学生確保や学生の県内への定着等に取り組む県内高等教育機関に対し、「高等教育機関魅力向上支援補助金（県版COC）」による助成を行います。

(2) （一部新）高等教育機関連携推進事業 予算額 6,283千円

県内高等教育機関と県で組織する「高等教育コンソーシアムみえ（仮称）」を設置し、教育プログラムの開発や県内就職支援等の取組を推進するとともに、三重県での暮らしやしごと、県内高等教育機関での学びの魅力を伝える冊子を作成し、県内の全高校2年生等に配付します。また、大学・学部等の新增設・再編に向けた調査・研究に引き続き取り組みます。

(3) （新）地域と若者の未来を拓く学生奨学金返還支援事業

予算額 4,309千円

若者の県内定着を促進するため、県内の南部地域等条件不利地域に居住すること等を条件に、大学生等の奨学金の返還額の一部を助成する制度を創設します。

- (4) 高等教育機関と地域との連携推進事業 予算額 4,270千円
「『学生×地域活動』サポート情報局（みえ学生地域活動支援センター）」を核として、県内高等教育機関のボランティアセンターや社会連携センター、三重県社会福祉協議会等の関係機関と連携しながら、地域活動に関心がある県内高等教育機関の学生と市町、NPO・地域活動団体、企業など、課題を抱える地域のさまざまな主体とのマッチングを推進します。
- (5) (新)家庭教育の充実に向けた応援方策検討事業 予算額 1,466千円
「教育の原点」である家庭教育の充実を図るため、有識者委員会による検討等により、応援戦略の確立や家庭に向けた啓発コンテンツの開発などに取り組みます。
- (6) 行動計画進行管理事業 予算額 4,109千円
「三重県経営戦略会議」の意見等をふまえ、「みえ県民力ビジョン」の着実な進行管理を図ります。
- (7) (新)まち・ひと・しごと創生総合戦略推進事業 予算額 971千円
「三重県地方創生会議」の意見等をふまえ、「三重県まち・ひと・しごと創生総合戦略」の着実な進行管理を図ります。
- (8) 計画推進諸費 予算額 4,604千円
県民の皆さんの幸福実感の推移等を把握し、県政の運営に活用するため、「みえ県民意識調査」を行います。
- (9) 番号制度等整備関係諸費 予算額 21,832千円
利用が開始されたマイナンバー（社会保障・税番号）制度の的確な運用を行います。
- (10) 人づくり政策推進費 予算額 512千円
知事と教育委員会が協議する「総合教育会議」等を開催し、教育・人づくり政策を計画的に推進します。
- (11) 次世代につなぐ平和啓発事業（戦略企画諸費の一部） 予算額 236千円
全国戦没者追悼式への子ども代表団の派遣や、学校での平和コンテンツの利用推進など、「戦後70周年記念事業」の成果を活用し、引き続き、未来を担う若い世代に平和の尊さや大切さを伝えるための平和啓発事業を行います。
- (12) 広域連携推進費 予算額 11,942千円
全国知事会等に参画して、連携事業に共同して取り組むとともに、国への提言活動を実施します。

(13) 中部圏・近畿圏連携強化費 予算額 3,384千円
中部圏知事会や近畿ブロック知事会等に参画して、連携事業に共同して取り組むとともに、国への提言活動を実施します。

(14) 広聴広報アクションプラン推進事業
予算額 31,176千円
(58,830千円 ※H27年度2月補正(その1)含みベース)
「三重県広聴広報アクションプラン」に基づき、県民の皆さんの視点に立った質の高い情報発信や、県の認知度向上・イメージアップに向けたプロモーション活動を効果的に展開していくため、外部専門家のノウハウを活用した戦略的な広聴広報活動に取り組みます。

(15) 県政情報発信事業 予算額 119,202千円
各種広報媒体の特性を生かした、より効果的・効率的な県政情報の発信を行うため、広報紙「県政だより みえ」では政策情報を、データ放送ではイベントやお知らせなどの情報をお届けし、県民の皆さんがさまざまな県政情報を確実に入手できるように取り組みます。

(16) 電波広報事業 予算額 73,726千円
テレビ・ラジオという電波広報媒体が持つ「情報の速報性・同時性」、「映像による説得性」などの特性を生かし、県の施策、事業等をわかりやすくリアルタイムで発信します。

(17) 広聴体制充実事業 予算額 15,913千円
県民ニーズを的確に把握し、県政運営に反映させていくため、「県民の声データベースシステム」の効果的な運用・職員研修の実施等、全庁的な広聴機能の充実を図ります。

(18) インターネット情報提供推進事業 予算額 31,717千円
平成28年4月からリニューアルした新たなウェブシステムを適切に運用し、県民の皆さんが、インターネットを利用して必要な県政情報を効率良く入手できるよう努めます。

(19) 統計情報編集費 予算額 1,690千円
統計情報を編集し、県民の皆さんや自治体・企業・教育研究機関等が統計情報を利活用できるよう、県統計情報のインターネット上の総合窓口である「みえ Data Box」や刊行物で提供します。

(20) 経済センサスー活動調査費 予算額 97,476千円
全産業分野における事業所及び企業の経済活動の実態を明らかにすること等を目的として調査を実施します。

(21) 情報公開制度運営費 予算額 5,159千円
職員研修等の実施や相談等への対応を通じて、情報公開制度に対するより一層の意識の向上・醸成を図り、制度の的確な運用に努めます。

(22) 個人情報保護対策費 予算額 817千円
個人情報保護条例の適正な運用を図るため、職員の相談・協議に対し、適切な助言を行うとともに、職員研修等により、個人情報保護意識の醸成を図ります。

3 事業の見直し

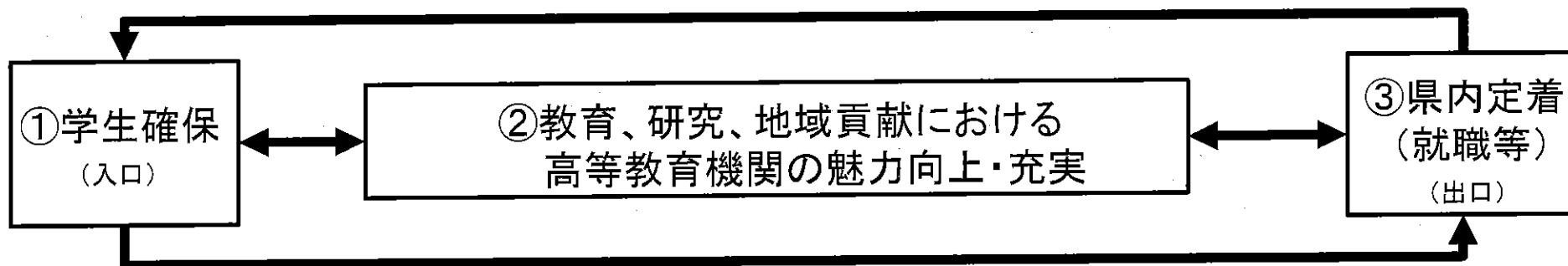
厳しい財政状況のもと、事業の選択と集中を進め、7本の事業について、廃止等を行いました。

	事業本数	事業費
廃止	4本	△12,156千円
リフォーム	1本	36,878千円
休止	2本	△793,196千円
合計	7本	△768,474千円

地域と若者の未来を拓く高等教育機関の充実

予算額 61,777千円
戦略企画総務課 224-2009

人口の社会減対策として、県内の若者が進学および就職する際に、県内を選択してもらえるよう、県内高等教育機関の魅力向上・充実の取組を支援するとともに、大学生等を対象とした奨学金の返還額の一部を助成する制度の創設などに取り組みます。

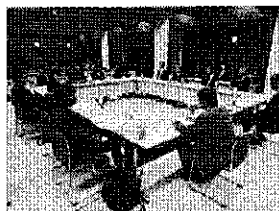


(一部新) 高等教育機関連携推進事業

予算額 6,283千円

「高等教育コンソーシアムみえ(仮称)」の取組推進 ①②③

県内高等教育機関と県で組織する「高等教育コンソーシアムみえ(仮称)」を設置し、教育プログラムの開発や県内就職支援等の取組を推進することにより、県内高等教育機関の魅力向上・充実を図ります。



県内高等教育機関の長と知事との意見交換会

地域と高等教育機関の魅力を伝える冊子の作成・配布 ①③

三重県での暮らしやしごと、県内高等教育機関での学びの魅力を伝えるための冊子を作成し、県内の全高校2年生等に配布します。

大学・学部等の新增設・再編に係る調査・研究 ①②

本県の大学収容力の向上に向け、大学・学部等の新增設・再編に向けた調査・研究に引き続き取り組みます。

高等教育機関における地方創生に向けた取組支援事業

2月補正予算額 46,915千円 ①②③

学生確保や学生の県内への定着等に取り組む県内高等教育機関に対し、「高等教育機関魅力向上支援補助金」による助成を行います。(H27継続分26,730千円(3件)、H28新規分20,000千円、事務費185千円)

(新) 地域と若者の未来を拓く学生奨学金返還支援事業

予算額 4,309千円 ③

若者の県内定着を促進するため、県内の南部地域等条件不利地域に居住すること等を条件に、大学生等の奨学金の返還額の一部を助成する制度を創設します。

高等教育機関と地域との連携推進事業

予算額 4,270千円 ②

『「学生×地域活動」サポート情報局』を核として、県内高等教育機関のボランティアセンター等の関係機関と連携しながら、地域活動に関心がある学生と市町、NPO・地域活動団体、企業など、課題を抱える地域のさまざまな主体とのマッチングを推進します。



サポート情報局が運営するマッチングサイト

「みえ県民カビジョン」の推進

予算額 47,590千円

企画課 ①②③ 224-2025
 戦略企画総務課 ④⑤⑥ 224-2009
 政策提言・広域連携課 ⑦⑧ 224-2089

県民の皆さんとの協創により、「みえ県民カビジョン」の着実な推進を図るとともに、「三重県まち・ひと・しごと創生総合戦略」等の的確な進行管理を行います。また、県境を超えて取り組むべき広域的な課題の解決に向け、他府県と連携して取組を進めます。

「みえ県民カビジョン」の進行管理

①行動計画進行管理事業

予算額 4,109千円

「三重県経営戦略会議」の意見等をふまえ、「みえ県民カビジョン」の着実な進行管理を図ります。



三重県経営戦略会議の様子

②(新)まち・ひと・しごと創生総合戦略推進事業

予算額 971千円

「三重県地方創生会議」の意見等をふまえ、「三重県まち・ひと・しごと創生総合戦略」の着実な進行管理を図ります。

③計画推進諸費

予算額 4,604千円

県民の皆さんの幸福実感の推移等を把握し、県政の運営に活用するため、「みえ県民意識調査」を行います。

④番号制度等整備関係諸費

予算額 21,832千円

利用が開始されたマイナンバー(社会保障・税番号)制度的な運用を行います。

⑤人づくり政策推進費

予算額 512千円

知事と教育委員会が協議する「総合教育会議」等を開催し、教育・人づくり政策を計画的に推進します。

⑥次世代につなぐ平和啓発事業 (戦略企画諸費の一部)

予算額 236千円

全国戦没者追悼式に子ども代表団を派遣するなど、未来を担う若い世代に平和の尊さや大切さを伝えるための平和啓発事業を行います。

広域連携の推進

⑦広域連携推進費

予算額 11,942千円

全国知事会等に参画して、連携事業に共同して取り組むとともに、国への提言活動を実施します。

⑧中部圏・近畿圏連携強化費

予算額 3,384千円

中部圏知事会や近畿ブロック知事会等に参画して、連携事業に共同して取り組むとともに、国への提言活動を実施します。



国への政策提言活動の様子

広聴広報の充実

予算額 404,530千円

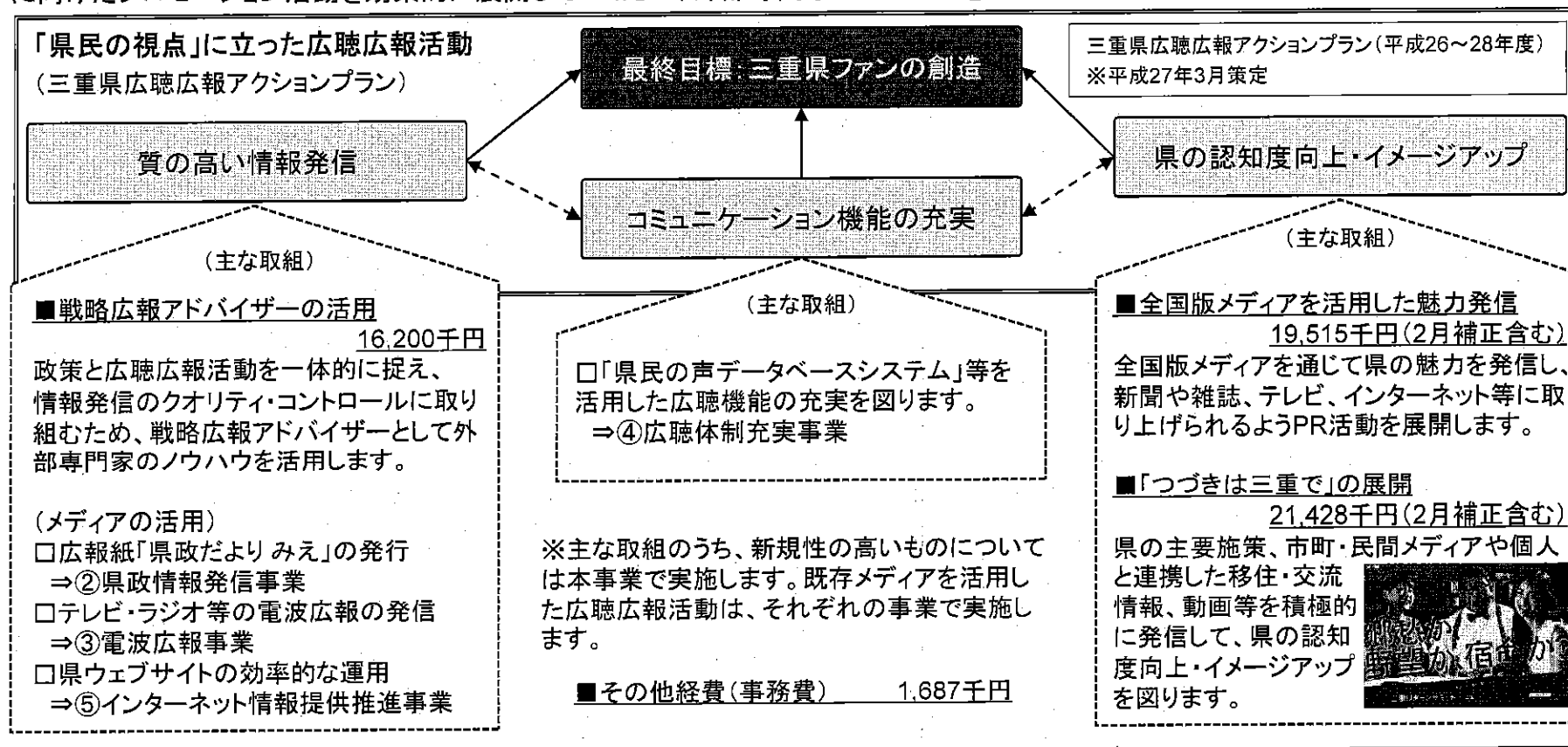
広聴広報課 ①②③④⑤
 統計課 ⑥⑦
 情報公開課 ⑧⑨

県民の皆さんの県に対する理解や共感、信頼が深まり、県政への積極的な参画や提案など、協創の三重づくりが進むよう、県民の皆さんの視点に立った広聴広報活動の充実を図ります。

戦略的なプロモーションの推進(広聴広報課 224-2031)

①広聴広報アクションプラン推進事業 58,830千円(2月補正含む)

「三重県広聴広報アクションプラン」に基づき、県民の皆さんの視点に立った質の高い情報発信や、県の認知度向上・イメージアップに向けたプロモーション活動を効果的に展開していくため、外部専門家のノウハウを活用した戦略的な広聴広報活動に取り組みます。



効果的な広聴広報機能の推進(広聴広報課 224-2031、2647、2788)

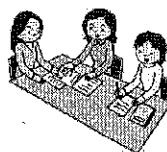
県政だより みえやテレビ・ラジオなど様々な媒体を活用し県政情報を県民に届ける取組

■ ②県政情報発信事業
予算額 119,202千円

各種広報媒体の特性を生かした、より効果的・効率的な県政情報の発信を行うため、広報紙「県政だより みえ」では政策情報を、データ放送ではイベントやお知らせなどの情報をお届けし、県民の皆さんがさまざまな県政情報を確実に入手できるように取り組めます。

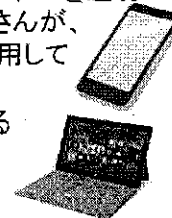
■ ③電波広報事業
予算額 73,726千円

テレビ・ラジオという電波広報媒体が持つ「情報の速報性・同時性」、「映像による説得性」などの特性を生かし、県の施策、事業等をわかりやすくリアルタイムで発信します。



■ ⑤インターネット情報提供推進事業
予算額 31,717千円

平成28年4月からリニューアルした新たなウェブシステムを適切に運用し、県民の皆さんが、インターネットを利用して必要な県政情報を効率良く入手できるよう努めます。



県民の声を県政に生かす取組

■ ④広聴体制充実事業
予算額 15,913千円

県民ニーズを的確に把握し、県政への反映に活用できるよう、「県民の声データベースシステム」の効果的な運用や職員研修の実施など、全庁的な広聴機能の充実を図ります。

統計情報の効果的な発信と活用の促進

(統計課 224-3051、2052)

■ ⑥統計情報編集費
予算額 1,690千円

統計情報を編集し、県民の皆さんや自治体・企業・教育研究機関等が統計情報を活用できるよう、県統計情報のインターネット上の総合窓口である「みえ Data Box」や刊行物で提供します。

■ ⑦経済センサス活動調査費
予算額 97,476千円

全産業分野における事業所及び企業の経済活動の実態を明らかにすること等を目的として調査を実施します。



行政情報の積極的な公開と個人情報の適正な保護

(情報公開課 224-2071)

■ ⑧情報公開制度運営費
予算額 5,159千円

職員研修等の実施や相談等への対応を通じて、情報公開制度に対するより一層の意識の向上・醸成を図り、制度的確な運用に努めます。



■ ⑨個人情報保護対策費
予算額 817千円

個人情報保護条例の適正な運用を図るため、職員の相談・協議に対し、適切な助言を行うとともに、職員研修等により、個人情報保護意識の醸成を図ります。

平成28年度当初予算主要事業

戦略企画部

政策名、施策名及び事業の内容	担当課・電話番号
《政策名：学びの充実》 〈施策名：(227) 地域と若者の未来を拓く高等教育機関の充実〉 1 高等教育機関における地方創生に向けた取組支援事業（県版COC） — 千円 （46,915千円 ※H27年度2月補正（その1）含みベース） 【(22701) 県内高等教育機関の魅力向上・充実】 （第2款 総務費 第2項 企画費 3 企画費） 学生確保や学生の県内への定着等に取り組む県内高等教育機関に対し、「高等教育機関魅力向上支援補助金（県版COC）」による助成を行います。 2 （一部新）高等教育機関連携推進事業 6,283千円 【(22701) 県内高等教育機関の魅力向上・充実】 （第2款 総務費 第2項 企画費 3 企画費） 県内高等教育機関と県で組織する「高等教育コンソーシアムみえ（仮称）」を設置し、教育プログラムの開発や県内就職支援等の取組を推進するとともに、三重県での暮らしやしごと、県内高等教育機関での学びの魅力を伝える冊子を作成し、県内の全高校2年生等に配付します。また、大学・学部等の新增設・再編に向けた調査・研究に引き続き取り組みます。 3 （新）地域と若者の未来を拓く学生奨学金返還支援事業 4,309千円 【(22701) 県内高等教育機関の魅力向上・充実】 （第2款 総務費 第2項 企画費 3 企画費） 若者の県内定着を促進するため、県内の南部地域等条件不利地域に居住すること等を条件に、大学生等の奨学金の返還額の一部を助成する制度を創設します。	戦略企画総務課 (224-2009) 戦略企画総務課 (224-2009) 戦略企画総務課 (224-2009)

政策名、施策名及び事業の内容	担当課・ 電話番号
4 高等教育機関と地域との連携推進事業 4,270千円 【(22702) 県内高等教育機関と地域との連携の促進】 (第2款 総務費 第2項 企画費 3 企画費) 『「学生×地域活動」サポート情報局（みえ学生地域活動支援センター）』を核として、県内高等教育機関のボランティアセンターや社会連携センター、三重県社会福祉協議会等の関係機関と連携しながら、地域活動に関心がある県内高等教育機関の学生と市町、NPO・地域活動団体、企業など、課題を抱える地域のさまざまな主体とのマッチングを推進します。	戦略企画総務課 (224- 2009)
《政策名：希望がかなう少子化対策の推進》 〈施策名：(233) 子育て支援と家庭・幼児教育の充実〉 1 (新) 家庭教育の充実に向けた応援方策検討事業 1,466千円 【(23304) 家庭・幼児教育の充実】 (第2款 総務費 第2項 企画費 3 企画費) 「教育の原点」である家庭教育の充実を図るため、有識者委員会による検討等により、応援戦略の確立や家庭に向けた啓発コンテンツの開発などに取り組みます。	戦略企画総務課 (224- 2009)
《行政運営の取組》 〈行政運営名：(1)「みえ県民カビジョン」の推進〉 1 行動計画進行管理事業 4,109千円 【(40101) 「みえ県民カビジョン」の進行管理】 (第2款 総務費 第2項 企画費 3 企画費) 「三重県経営戦略会議」の意見等をふまえ、「みえ県民カビジョン」の着実な進行管理を図ります。 2 (新) まち・ひと・しごと創生総合戦略推進事業 971千円 【(40101) 「みえ県民カビジョン」の進行管理】 (第2款 総務費 第2項 企画費 3 企画費) 「三重県地方創生会議」の意見等をふまえ、「三重県まち・ひと・しごと創生総合戦略」の着実な進行管理を図ります。	企画課 (224- 2025) 企画課 (224- 2025)

政 策 名、 施 策 名 及 び 事 業 の 内 容	担当課・ 電話番号
3 計画推進諸費 4, 6 0 4 千円 【(40101)「みえ県民力ビジョン」の進行管理】 (第2款 総務費 第2項 企画費 3 企画費) 県民の皆さんの幸福実感の推移等を把握し、県政の運営に活用するため、「みえ県民意識調査」を行います。	企画課 (224-2025)
4 番号制度等整備関係諸費 2 1, 8 3 2 千円 【(40101)「みえ県民力ビジョン」の進行管理】 (第2款 総務費 第2項 企画費 3 企画費) 利用が開始されたマイナンバー（社会保障・税番号）制度の的確な運用を行います。	戦略企画総務課 (224-2009)
5 人づくり政策推進費 5 1 2 千円 【(40101)「みえ県民力ビジョン」の進行管理】 (第2款 総務費 第2項 企画費 3 企画費) 知事と教育委員会が協議する「総合教育会議」等を開催し、教育・人づくり政策を計画的に推進します。	戦略企画総務課 (224-2009)
6 次世代につなぐ平和啓発事業（戦略企画諸費の一部） 2 3 6 千円 【(40101)「みえ県民力ビジョン」の進行管理】 (第2款 総務費 第2項 企画費 1 企画調整費) 全国戦没者追悼式への子ども代表団の派遣や、学校での平和コンテンツの利用推進など、「戦後70周年記念事業」の成果を活用し、引き継ぎ、未来を担う若い世代に平和の尊さや大切さを伝えるための平和啓発事業を行います。	戦略企画総務課 (224-2009)
7 広域連携推進費 1 1, 9 4 2 千円 【(40102) 広域連携の推進】 (第2款 総務費 第2項 企画費 1 企画調整費) 全国知事会等に参画して、連携事業に共同して取り組むとともに、国への提言活動を実施します。	政策提言・広域 連携課 (224-2089)
8 中部圏・近畿圏連携強化費 3, 3 8 4 千円 【(40102) 広域連携の推進】 (第2款 総務費 第2項 企画費 1 企画調整費) 中部圏知事会や近畿ブロック知事会等に参画して、連携事業に共同して取り組むとともに、国への提言活動を実施します。	政策提言・広域 連携課 (224-2089)

政 策 名、 施 策 名 及 び 事 業 の 内 容	担当課・ 電話番号
〈行政運営名：(5) 広聴広報の充実〉 1 広聴広報アクションプラン推進事業 31,176千円 (58,830千円 ※H27年度2月補正(その1)含みベース) 【(40502) 戦略的なプロモーションの推進】 (第2款 総務費 第2項 企画費 4 広聴広報費) 「三重県広聴広報アクションプラン」に基づき、県民の皆さんの視点に立った質の高い情報発信や、県の認知度向上・イメージアップに向けたプロモーション活動を効果的に展開していくため、外部専門家のノウハウを活用した戦略的な広聴広報活動に取り組みます。 2 県政情報発信事業 119,202千円 【(40501) 効果的な広聴広報機能の推進】 (第2款 総務費 第2項 企画費 4 広聴広報費) 各種広報媒体の特性を生かした、より効果的・効率的な県政情報の発信を行うため、広報紙「県政だより みえ」では政策情報を、データ放送ではイベントやお知らせなどの情報をお届けし、県民の皆さんがさまざまな県政情報を確実に入手できるように取り組みます。 3 電波広報事業 73,726千円 【(40501) 効果的な広聴広報機能の推進】 (第2款 総務費 第2項 企画費 4 広聴広報費) テレビ・ラジオという電波広報媒体が持つ「情報の速報性・同時性」、「映像による説得性」などの特性を生かし、県の施策、事業等をわかりやすくリアルタイムで発信します。 4 広聴体制充実事業 15,913千円 【(40501) 効果的な広聴広報機能の推進】 (第2款 総務費 第2項 企画費 4 広聴広報費) 県民ニーズを的確に把握し、県政運営に反映させていくため、「県民の声データベースシステム」の効果的な運用・職員研修の実施等、全庁的な広聴機能の充実を図ります。	広聴広報課 (224-2031) 広聴広報課 (224-2788) 広聴広報課 (224-2788) 広聴広報課 (224-2031)

政 策 名、 施 策 名 及 び 事 業 の 内 容	担当課・ 電話番号
5 インターネット情報提供推進事業 31,717千円 【(40501) 効果的な広聴広報機能の推進】 (第2款 総務費 第2項 企画費 4 広聴広報費) 平成28年4月からリニューアルした新たなウェブシステムを適切に運用し、県民の皆さんが、インターネットを利用して必要な県政情報を効率良く入手できるよう努めます。	広聴広報課 (224-2031)
6 統計情報編集費 1,690千円 【(40503) 統計情報の効果的な発信と活用の促進】 (第2款 総務費 第3項 統計調査費 1 統計調査総務費) 統計情報を編集し、県民の皆さんや自治体・企業・教育研究機関等が統計情報を利活用できるよう、県統計情報のインターネット上の総合窓口である「みえ Data Box」や刊行物で提供します。	統計課 (224-3051)
7 経済センサスー活動調査費 97,476千円 【(40503) 統計情報の効果的な発信と活用の促進】 (第2款 総務費 第3項 統計調査費 2 統計調査費) 全産業分野における事業所及び企業の経済活動の実態を明らかにすること等を目的として調査を実施します。	統計課 (224-2052)
8 情報公開制度運営費 5,159千円 【(40504) 行政情報の積極的な公開と個人情報の適正な保護】 (第2款 総務費 第2項 企画費 6 情報公開費) 職員研修等の実施や相談等への対応を通じて、情報公開制度に対するより一層の意識の向上・醸成を図り、制度の的確な運用に努めます。	情報公開課 (224-2071)
9 個人情報保護対策費 817千円 【(40504) 行政情報の積極的な公開と個人情報の適正な保護】 (第2款 総務費 第2項 企画費 6 情報公開費) 個人情報保護条例の適正な運用を図るため、職員の相談・協議に対し、適切な助言を行うとともに、職員研修等により、個人情報保護意識の醸成を図ります。	情報公開課 (224-2071)

2 議案第2号 平成27年度三重県一般会計補正予算(第7号)【戦略企画部関係】について
平成27年度 2月補正予算(その2)項目一覧表

(単位:千円)

款 項 目	事 業 目	補正前の額	補正額	補正後の予算額	補 正 の 概 要
一般会計 (第2款)		2,625,552	19,631	2,645,183	
総務費 (第2項)		2,625,552	19,631	2,645,183	
企画費 (第1目)		1,490,333	14,622	1,504,955	
企画調整費		848,193	14,622	862,815	
	給与費				
	特別職人件費	56,104	168	56,272	人事委員会勧告に 基づく給与改定に伴 う特別職人件費の増
	人件費	735,278	14,454	749,732	人事委員会勧告に 基づく給与改定に伴 う戦略企画部職員の 人件費の増
(第3項)					
統計調査費 (第1目)		1,135,219	5,009	1,140,228	
統計調査総務費		274,648	5,009	279,657	
	統計関係総務費				
	人件費	263,526	5,009	268,535	人事委員会勧告に 基づく給与改定に伴 う統計課職員の人件 費の増

3 議案第70号 平成27年度三重県一般会計補正予算(第8号)【戦略企画部関係】について
平成27年度 最終補正予算主要項目一覧表

(単位:千円)

款 項 目	事 業 目	補正前の額	補正額	補正後の予算額	補 正 の 概 要
一般会計		2,645,183	△ 31,679	2,613,504	
(第2款)					
総務費		2,645,183	△ 31,679	2,613,504	
(第2項)					
企画費		1,504,955	△ 31,553	1,473,402	
(第3目)					
企画費		222,194	△ 29,416	192,778	
	県勢振興推進費				
	政策企画調査費	4,430	26,915	31,345	RESAS(地域経済分析システム)の普及促進に要する経費の計上等による増
	番号制度等整備関係諸費				
	番号制度等整備関係諸費	111,932	△ 56,127	55,805	社会保障・税番号制度に係る団体内統合宛名システム構築に要する経費等の減

4 三重県地域と若者の未来を拓く学生奨学金返還支援基金条例案 について

1 提案理由

三重県内の南部地域等条件不利地域での居住等を条件として、大学生等の奨学金の返還額の一部を助成することにより、若者の三重県内への定着を促進するための事業に要する経費の財源に充てるため、三重県地域と若者の未来を拓く学生奨学金返還支援基金を設置するものです。

2 基金設置の考え方について

民間からの寄附を受け入れるとともに、後年度の支出に向けて、計画的に積み立てるため、基金を設置します。

3 施行期日

公布の日から施行

【参考】 三重県地域と若者の未来を拓く学生奨学金返還支援事業の概要

現在想定している制度概要は以下のとおりです。

対象地域の指定など、詳細については、秋頃の公募に向け検討していくこととしています。

(1) 支援対象

対象地域	南部地域等条件不利地域
対象業種	指定せず ※公務員は除く。
対象者の学校 区分及び学年	大学院（1年以上）、大学（3年以上）、短期大学（1年以上）、 高専（4年以上）、専修学校（専門課程）（1年以上）

(2) 就職又は就業期間

大学等を卒業後、就業し、南部地域等の条件不利地域で4年間継続して居住した場合に支援対象額の1/3を支給し、8年間が経過した後、残り2/3を支給する。

(3) 助成率・助成限度額

返還金総額の1/4以内、助成限度額 100万円

(4) 助成予定人数

20人／年度

議案第二十五号

三重県地域と若者の未来を拓く学生奨学金返還支援基金条例案

右提出する。

平成二十八年二月十八日

三重県知事 鈴木英敬

三重県地域と若者の未来を拓く学生奨学金返還支援基金条例

(目的)

第一条 三重県内の規則で定める地域での居住等を条件として、大学生等の奨学金の返還額の一部を助成することにより、若者の三重県内への定着を促進するための事業に要する経費の財源に充てるため、三重県地域と若者の未来を拓く学生奨学金返還支援基金(以下「基金」という。)を設置する。

(積立て)

第二条 基金には、一般会計歳入歳出予算(以下「予算」という。)の定める額を積み立てる。

(管理)

第三条 基金に属する現金は、金融機関への預金その他最も確実かつ有利な方法により保管しなければならない。

2 基金に属する現金は、必要に応じ、最も確実かつ有利な有価証券に代えることができる。

(運用益金の処理)

第四条 基金の運用から生じる収益は、予算に計上して、基金に編入するものとする。

(処分)

第五条 基金は、基金の設置の目的を達成するために必要な経費の財源に充てる場合に限り、予算の定めるところにより処分することができる。

(繰替運用)

第六条 知事は、財政上必要があると認めるときは、確実な繰戻しの方法、期間及び利率を定めて、基金に属する現金を歳計現金に繰り替えて運用することができる。

(委任)

第七条 この条例に定めるもののほか、基金の管理に関し必要な事項は、知事が別に定める。

附 則

この条例は、平成二十八年四月一日から施行する。

提案理由

三重県内の南部地域等条件不利地域での居住等を条件として、大学生等の奨学金の返還額の一部を助成することにより、若者の三重県内への定着を促進するための事業に要する経費の財源に充てるため、三重県地域と若者の未来を拓く学生奨学金返還支援基金を設置する必要がある。これが、この議案を提出する理由である。